

定時会員総会を開催

前年度運営報告及び決算書類を承認

令和元年、第81回定時会員総会が5月28日（火）11時当部5階大会議室で開催された。

総会はずき池会長が挨拶に立ち「平成から令和に代わりました。昭和23年に創立された経済倶楽部は、昨年70周年を迎え、7月20日に記念事業を挙行することが出来ました。なら100年会館での記念講演会には一般聴講者も含めて400名、ホテル日航奈良での記念式典には来賓も含めて200名の方にご参加いただき、無事、盛大に終えることが出来ましたこと、会員皆様方のご協力のお陰だと感謝申し上げます。一般社団法人に移行して7期に入り、運営も順調に来ております。本日は平成30年度の運営事業報告と決算内容につきまして、ご審議をお願いしたいと思いますので、忌憚のないご意見を頂戴することをお願いいたします」と述べた。

会議は全員一致で菊池会長を総会議長に選出し、出席者及び書面議決行使書合わせて会員議決権数の過半数を超えていることを報告し、成立を宣言。案

件審議に入り、平成30年度の運営事業報告に続いて、平成30年度計算書類承認の件を原案通り可決承認した。

菊池会長は「会館1階の近鉄リテーリングさんの店舗が、時代に合わせインバウンドの方も対象にしたクラフトビールレストランの構想や、うどん亭も時代に合わせた、『粋麺あみ乃や』に変わるようです。また昨年、好評頂いたスマホ教室をJAFにもお願いをして回数を増やしていきたい。そして、分煙推進の意見もあり、時代に合わせた対応を考えています。また、研修旅行への参加者の皆さんも高齢化となられてきており、教養や文化の部分を高め、意味を持った旅行にしてくださいとの意見も賜り考えているところです。経済倶楽部は今後も公益事業の推進と共に、会員サービスにも重点を置き、事業展開を進めてまいります。会員の皆様には今まで以上のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます」と締めくくり定時会員総会を閉会した。



令和元年度 事業計画

奈良県経済倶楽部は、昨年度、創立70周年記念事業を執り行うと共に、築30年を迎えた会館の大規模改修工事を無事終え、新たな節目を迎える。改めて、定款目的項に謳う「会員相互の交誼親睦を敦くし、その知識徳性を啓発すると共に、奈良県商工業の振興を通じて地域経済の活力増進と社会文化の向上に貢献する」との理念を、会員各自が認識出来るよう発信してゆくと共に、関係諸団体との連携協調をはかり、これからの高齢化社会を切り抜けるべく、右記の諸事業を継続実施する。

【実施事業】

公益目的支出計画の実施
関係諸団体との連携協調及び支援
文化国際力、及び地域力の向上
会員の資質涵養、教養・見識の高揚
会館の運営

なお、業務を補完する運営委員の常設委員会の役割分担は次の通り。

〔総務委員会〕倶楽部運営管理の助言
〔事業委員会〕視察研修会の企画立案
〔文化啓発委員会〕研修旅行の企画立案